

授業科目	病理学各論V	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次後期	1	講義	20 時間
到達目標	1. 性・生殖に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 2. 性・生殖に関連する生体の診断を理解する。 3. 性・生殖に関連する治療について理解する。 4. 感覚に関連する症状と病態を捉え疾病の成り立ちを理解する。 5. 感覚に関連する生体の診断を理解する。 6. 感覚に関連する治療を理解する。					講師
						泌尿器科医師 産婦人科医師 外科医師 皮膚科医師 眼科医師 耳鼻咽喉科医師
授業計画						
1 回	男性生殖器に関連する疾患の症状・診断・検査・治療 性感染症 先天異常 不妊症					泌尿器科医師 (2 時間)
2 回	女性生殖器に関連する疾患の症状・診断・検査・治療 性分化疾患 臓器別疾患 機能的疾患 感染症					産婦人科医師 (4 時間)
3 回						
4 回	乳房の疾患に関連する症状・診断・検査・治療 乳がん 乳腺炎					外科医師 (2 時間)
5 回	皮膚の疾患に関連する症状・診断・検査・治療 表在性皮膚疾患 真皮・皮下脂肪織及び皮膚付属器の疾患 脈管系の異常による皮膚疾患 物理・化学的皮膚傷害 感染症 全身性疾患に伴う皮膚病変					皮膚科医師 (4 時間)
6 回						
7 回	眼の疾患に関連する症状・診断・検査・治療 機能の障害 部位別の疾患 外傷 全身性疾患との関連					眼科医師 (4 時間)
8 回						
9 回	耳鼻咽喉に疾患に関連する症状・診断・検査・治療 耳疾患 鼻疾患 咽頭・喉頭疾患 気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害					耳鼻咽喉科医師 (4 時間)
10 回						
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験 (100%) 泌尿器科医師 (10%)、産婦人科医師 (20%)、外科医師 (10%)、皮膚科医師 (20%)、眼科医師 (20%)、耳鼻咽喉科医師 (20%) を総合して評価する					
教科書	共通 系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 医学書院 泌尿器科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑧腎・泌尿器 医学書院 産婦人科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑨女性生殖器 医学書院 外科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑨女性生殖器 医学書院 皮膚科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑫皮膚 医学書院 眼科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑬眼 医学書院 耳鼻咽喉科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑭耳鼻咽喉 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					